

平成22年度 事業報告書

1 会 議

(1) 正副会長（消防団長職）会議

平成22年4月、6月（2回）、7月、9月、1月、2月、3月の計8回開催し、理事会、常議員会や協会運営等について協議した。

(2) 理 事 会

平成22年6月4日（金）、平成23年2月25日（金）の2回開催し、常議員会の議題や協会運営等について協議した。

(3) 常議員会

① 第1回常議員会

- | | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ア 開催年月日 | 平成22年6月17日（木） |
| イ 場 所 | 埼玉県防災学習センター 研修室（鴻巣市） |
| ウ 審 議 事 項 | <ul style="list-style-type: none">・平成21年度事業報告について・平成21年度収支決算の承認について・埼玉県消防協会中期経営計画（平成22年～24年度）について・その他（連絡事項等） |

② 第2回常議員会

- | | |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ア 開催年月日 | 平成23年3月25日（金） |
| イ 場 所 | 埼玉県防災学習センター 研修室（鴻巣市） |
| ウ 審 議 事 項 | <ul style="list-style-type: none">・平成22年度収支補正予算について・平成23年度事業計画について・平成23年度支部負担金について・平成23年度収支予算について・新公益法人制度に伴う公益認定移行への機関設計について・（財）埼玉県消防協会の会員について・（財）埼玉県消防協会の支部の位置づけについて・（財）埼玉県消防協会における最初の評議員の選任方法について・公益財団法人 埼玉県消防協会定款（案）について・役員辞任による新任者の就任について・東北地方太平洋沖地震に伴う義援金について・その他（報告事項等） |

[注] 常議員会は、常議員及び理事をもって組織し、その決議事項は、以下のとおりである。

- (1) 予算、事業計画、支部負担金
- (2) 決算の承認
- (3) 寄附行為の変更
- (4) 基本財産の処分
- (5) その他、本会運営に関する重要な事項

(4) 監事会

平成22年5月26日(水)、平成21年度決算及び事業執行に関し監事が監査を実施した。

(5) 表彰審査委員会

平成22年9月10日(金)、平成22年度(第62回)埼玉県消防協会定例表彰等の審査委員会を開催した。

(6) 支部事務担当者会議

① 第1回支部事務担当者会議

- ア 開催年月日 平成22年5月28日(金)
- イ 場 所 埼玉県防災学習センター 研修室(鴻巣市)
- ウ 議 題
 - ・平成22年度事業計画について
 - ・平成22年度予算について
 - ・平成22年度埼玉県消防協会定例表彰について
 - ・平成22年度日本消防協会定例表彰について
 - ・日本消防協会福祉増進事業について
 - ・第26回埼玉県消防操法大会について
 - ・消防団員研修事業について
 - ・弔慰救済、死亡表彰に対する対応について
 - ・埼玉県防火防災指導者人材バンク事業について
 - ・公益法人改革に伴う移行について
 - ・役員改選について
 - ・その他(連絡事項等)

② 第2回支部事務担当者会議

- ア 開催年月日 平成23年1月25日(火)
- イ 場 所 埼玉県防災学習センター 研修室(鴻巣市)
- ウ 議 題
 - ・公益法人制度改革について
 - ・新公益法人制度について
 - ・埼玉県消防協会の支部の位置づけについて
[埼玉県消防協会地区ブロック及び支部の設置要項(案)]
 - ・埼玉県消防協会の会員について
[埼玉県消防協会の会員に関する規程(案)]

- ・新公益法人に伴う公益認定移行への機関設計（案）について
- ・その他

(7) 消防関係会議

- ① 日本消防協会役員会への出席（5月20日、2月24日）
- ② 関東甲信地区消防協会会議への出席（5月13日～14日 茨城県）
- ③ 都道府県消防協会事務局長会議への出席（2月18日）
- ④ 関東甲信地区消防協会事務局長会議への出席（11月18日～19日 川越市）
- ⑤ 関東甲信地区消防協会（臨時）事務局長会議への出席
(3月3日～4日 さいたま市)

2 消防振興事業

(1) 第26回埼玉県消防操法大会

平成22年8月7日（土）、県消防学校を会場として開催し、ポンプ車の部15隊が出場した。優勝は秩父市消防団であった。

ポンプ車の部で優勝した秩父市消防団は、平成22年11月12日（金）愛知県蒲郡市で開催された第22回全国消防操法大会に出場した。

(2) 定例表彰事業

① 第62回定例表彰

平成22年10月22日（金）さいたま市民会館うらわを会場として、優良消防団員等延べ29団体、2,310名を表彰した。

② 日本消防協会定例表彰

日本消防協会へ上申した、「特別表彰まとい」を所沢市消防団が受章したほか、「功績章」21名、「精績章」51名、「勤続章」203名が受章となり表彰を受けた。

(3) 慰霊祭事業

① 平成22年11月8日（月）、県消防学校を会場として、消防殉職（殉難）者84柱の慰霊祭を行い、遺族・消防関係者約300名が参列した。

なお、7月25日（日）に秩父市で発生した、防災ヘリコプターによる救出活動中の事故で亡くなった消防職員3名、本田航空職員2名の計5名が合祀された。

② 殉職者5名及び在職中に死亡した18名の職団員の遺族に対して、弔慰金を交付した。

③ 殉職消防職員の遺児7名に育英支援規程に基づく支援金を交付した。

(4) 消防団員研修事業

① 消防団員基礎教育研修

消防本部による現地研修終了認定を受けた新入団員（入団3年以内）を対象とした基礎教育研修を県消防学校で6回実施し、508人が受講した。

② 消防団員幹部研修（初級、中級）

平成23年3月11日（金）に初級幹部研修第1日目を実施し、99名が受講したが、同日午後に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、3月12日（土）の初級幹部研修及び、3月18日（金）、19日（土）に予定していた中級幹部研修については、県消防学校と協議し中止となった。

③ 女性消防団員研修

平成22年12月11日（土）、埼玉県消防学校を会場として、県内の女性消防団員76人の参加により実施し、講義及び体験発表及び三郷市女性消防団員による火災予防寸劇の展示の後、各テーマ別の班に分かれてグループ討議を行い、それぞれの意見を発表した。

④ 住宅用火災警報器設置推進指導員研修（新規）

平成22年10月3日（日）及び31日（日）の2回、埼玉県防災学習センターを会場に実施し、県内消防団等68団体、第1回114名、第2回115名が参加した。

⑤ 日本消防協会研修

日本消防協会主催の消防団幹部特別研修に1名、消防団幹部候補中央研修については、男性の部3名、女性の部2名をそれぞれ推薦した。

(5) 普及啓発・活性化事業

① 火災予防啓発活動

秋季火災予防運動に際し、全日本消防人共済会作成の防火ポスター1,159枚を各支部を通じ県内各所に配布した。

なお、このポスター図案の応募について、各支部経由で県内の小中学生に依頼したところ、27人から応募があり、全員に記念品を贈呈した。

② 防災講演会の開催（新規）

平成22年10月22日（金）さいたま市民会館うらわを会場として開催した、「第62回定例表彰式」に併せ、総務省消防庁の消防団員確保アドバイザーの東北福祉大学兼任講師 後藤一蔵氏を講師に「身近な防災対策と消防団の重要性について」を演題とした防災講演会を開催し、消防団員等消防関係者約200名のほか、一般参加者約120名が参加した。

③ 消防団 P R 及び団員確保対策事業

ホームページを更新し、消防団の活動状況及び消防団の P R を行った。

④ 防火防災指導者人材バンク事業（新規）

県から受託を受け、事業の普及促進のため、関係機関等にリーフレット2万枚を作成・配布し、登録及び人材紹介等の管理運営を行った。

なお、今年度の登録者数は40名、人材紹介は5件であった。

⑤ 女性消防団員活性化事業

平成22年7月29日（木）、奈良県で開催された、第16回全国女性消防団員活性化奈良大会において、川口市の女性消防団員が体験発表を行ったほか、本県からは消防団長、女性消防団員及び関係者61名が参加した。

（6） 福祉厚生事業

① 消防団長を退任した役員14名に感謝状及び記念品を贈呈した。

② 日本消防協会と連携して事業の推進を図り、遺族援護金21件、生活援護金1件、傷害見舞金及び入院見舞金26件、合計48件、25,163千円を遺族及び加入者に給付した。

③ 日本消防協会から福祉増進事業助成金の交付を受け、各消防団に対し、健康増進器具等の購入、配布等を行った。

④ 支部事務担当者及び消防団員基礎教育研修、女性消防団員研修受講者を対象に消防互助年金制度等加入促進説明会を開催し、加入促進を図った。

（7） 日本消防協会事業

① 機関誌「日本消防」を各消防団に配布した。

② 日本消防協会から依頼のあった各種調査について回答した。

③ 女性消防団員を採用した消防団に対する制服の交付申請を行った。

④ 福祉事業の車両交付事業による防災車両の交付申請を行った。

3 関係機関への協力

① コミュニティづくり県民運動推進協議会

② 埼玉県交通安全対策協議会

4 その他

東北地方太平洋沖地震に伴う被災地への義援金について、県内の各支部及び各消防団から協力のあった7,917,405円を日本消防協会へ送金した。

5 役職員に関する事項

(1) 役員数 (平成23年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	備考
会長	0	1人	会長は理事とする。
副会長	0	7	副会長は理事とする。
理事	0	18	常務理事1人を含む。
監事	0	4	
常議員	0	14	
計	0	44	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数 (平成23年3月31日現在)

事務局長	(常勤)	1人
専門員	(常勤)	1人
書記	(非常勤)	1人

(3) 組織 (平成23年3月31日現在)

ア 役員

会長(1) — 副会長(7) — 理事(18) — 監事(4) — 常議員(14)

関根 一彌(団長) 金子 悦三(団長) (常務)小関 清一 4団長 14団長
 岡安 秀雄(団長) (県消防防災課長)
 新井 正夫(団長) (理事)17人
 金子 利夫(団長) * 8団長
 原口 和久(鴻巣市長) * 4市長
 小沢 信義(毛呂山町長) * 4町村長
 吉野 淳一(県危機管理防災部長) * 1消防長

イ 事務局

事務局長(1) — 専門員(1) — 書記(1)

小松代芳三 平井 正治 鷹野 淳子